



臨床研究支援センターでは、新規治験に関する「治験実施可能性調査」「Feasibility調査」を受け入れています。
各診療科の先生方へお声がけし、調査への回答依頼をお願いしております。治験促進のためご協力よろしくお願い申し上げます。

CRCと臨床試験のあり方を考える会議2023 in 岡山に参加しました

毎年恒例のCRCと臨床試験のあり方を考える会議（以下あり方会議）が、9月16日～17日にかけて、岡山市の会場での現地開催とオンデマンド配信を併用したハイブリッド形式で開催され、当センターからは、畑山、堀、神山の3名で現地参加してきました。



今年のテーマは次世代への架け橋～患者のため、社会のために必要な臨床試験のあり方～と題され患者来院を必須としないDCT、患者参画PPIや、プロセス管理、電磁化に焦点おいた講演が多くありました。

当センターからはポスター発表で、「逸脱ワーキング活動の実践から見えた当院の傾向と課題」という表題で昨年度から取り組んでいる活動の結果報告を行いました。例年と異なりe-posterでスライドに音声を載せる収録を行い投稿する形で行われたため、現地でCRC同士の情報交換をする場がなく、少し残念な感じでしたが、その分、講演をフルに聴講することができました。

今後の当センターでの支援活動に反映させていきたいと思えます。（畑山・堀）

神山はAMED事業で実施したQuality by Design (QbD) の理解と実践に関する支援者・研究者へのフォーカスグループインタビュー分析について、口頭発表しました。ICH E8(R1)で掲げられた「質とは目的への適合性である」ことに根差したプロトコル作成段階からの質の作り込みに不可欠な「対話」が成立しにくい現状を報告しました。（神山）



臨床研究支援センター ホームページのリニューアルを行いました！

10月16日よりホームページが新しくなりました。全体的なデザイン・レイアウトの更新と、一般の方へ向けたページを一新し、治験をよく知らない方にも興味を持ってもらえるよう、内容を更新しました。現在は研究者の方へ向けたページについて、手続き方法などをわかりやすくご案内できるよう準備を進めています。見ていただく皆さまにとってより閲覧しやすいホームページを目指し、今後も都度更新していきますので、この機会にぜひ一度ご覧になってみてください。

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/chiken/>



「JSTR認定GCPエキスパート」を取得しました！

このたび、自己研鑽を目的に2016年に取得したGCPパスポートの上位資格にあたるGCPエキスパート試験に挑戦し、資格を取得しました。法規・指針等の理解に加え、品質管理・品質保証、プロジェクトマネジメント、臨床試験方法論、国際共同治験等についても範囲となる資格を研究者支援や実施機関の体制整備などの業務に生かして、道北・道東の臨床研究の活性化や、日本のドラッグ・ロス回避のための治験環境の向上といった課題にも取り組みたいです。（神山）

新たに3件の治験が開始となりました！



疾患名	治験の種類	剤形	診療科	責任医師
非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)	第Ⅱ相	錠剤	消化器内科	澤田医師
ネフローゼ型膜性腎症	医師主導治験	点滴静注	腎臓内科	中川医師
潰瘍性大腸炎	第Ⅲ相	カプセル	消化器内科	藤谷医師



ご意見・要望等は、臨床研究支援センターまでご連絡ください。
(内線：3487 / E-mail : crsc-all@asahikawa-med.ac.jp)
次号は1月に発行予定です。

